



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

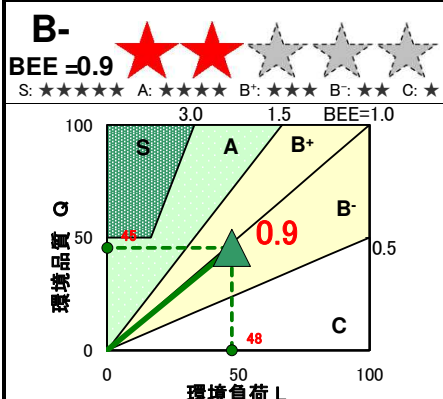
1-1 建物概要

建物名称	鶴町第2住宅2号館建設工事		
建設地	大正区鶴町1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	大阪市長		
設計者	大阪市都市整備局		
敷地面積	5,058.43	m ²	
建築面積	870.00	m ²	
延床面積	6,281.26	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上9階
完了年(予定)	2026年3月		

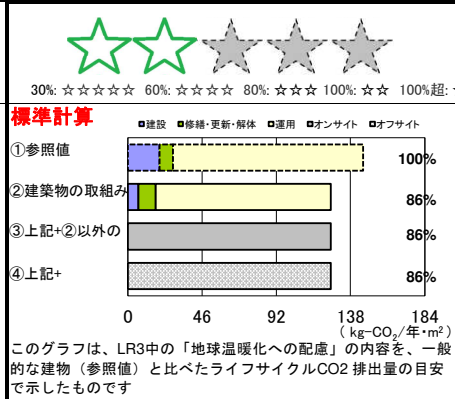
1-2 外観



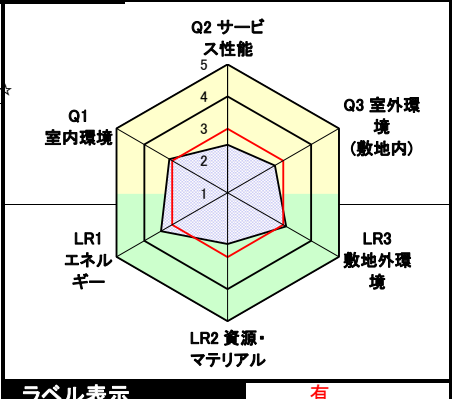
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



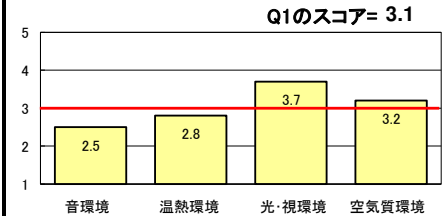
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



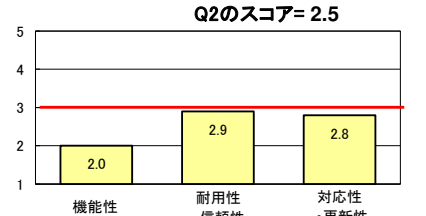
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

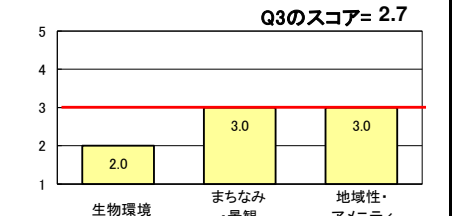
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

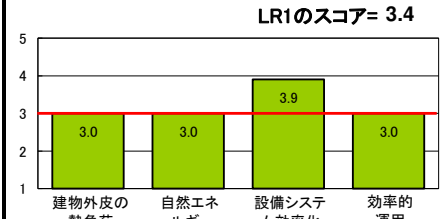


Q3 室外環境(敷地内)

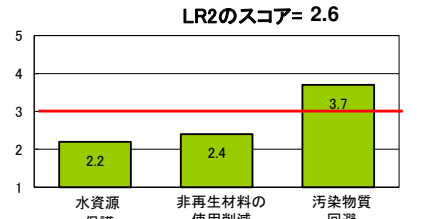


LR 環境負荷低減性

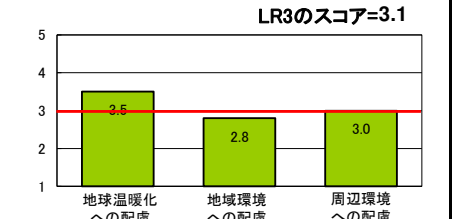
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

建物全体の一次エネルギー消費量が省エネ基準を満たすようにし、CO₂排出量の低減に努めた。

その他

特に無し。

Q1 室内環境

居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保し、換気性能の向上に努めた。

Q2 サービス性能

空調・給水配管の主要な用途上位3種うち2種類を耐用年数の長い性能のものとして、設備の耐久性向上に努めた。

Q3 室外環境(敷地内)

特に無し。

LR1 エネルギー

BEI=1.00以下を予定しており、環境に配慮した。

LR2 資源・マテリアル

特に無し。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO₂排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.5
配慮事項	建物全体の一次エネルギー消費量が省エネ基準を満たすようにし、CO ₂ 排出量を一般建物と同程度以下になるよう努めた

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	敷地内緑化形成に出来る限り努めた

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 3.0
配慮事項	CO ₂ 削減に配慮した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.9
配慮事項	LED照明を採用し、省エネルギー化に努めた

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 等級3（相当） 非住宅部分[BPI][BPI_m] -

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEI_m] 0.91 住宅部分[BEI] 0.91 非住宅部分[BEI][BEI_m] -